

全国公開研究会のご案内

本校は“ことばの力”を高めて、
児童・生徒の思考をアクティブにする授業に取り組んでいます。

<研究テーマ> 「一人一人のことばの力を高める授業づくり 5」

知的障害特別支援学校における 主体的・対話的で深い学びとは

ことばの力を高める授業づくりをテーマにした研究は、5年目を迎えました。これまでの研究活動を通して、アセスメントに基づいた**根拠のある指導内容の精選**や、**学習活動に必要な環境や手だて**について、整理を進めました。

本校では、自立活動を充実させることにより「分かって動く」から「**考えて動く**」が**実現**し、障害の軽重を問わず、主体的・自発的な活動が可能になっています。児童・生徒の主体的・自発的な活動からは“**思考し、判断し、表現する姿**”が見られます。

授業をこの水準まで高められた本校だからこそ次期学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」が**知的障害特別支援学校においても実現されている**ことを全国に発信できると考えています。

また、特別支援教育のセンター校として八王子市立学校の先生方と考え方を共有し、インクルーシブ教育システムの実現に向けて、互いに学び合いたいと願っています。

日時 平成30年1月26日(金)

講演会

「新学習指導要領とこれからの特別支援教育」

講師：丹野哲也氏（文部科学省視学官）

シンポジウム

「知的障害教育における主体的・対話的で深い学びとは」

シンポジスト：丹野哲也氏（文部科学省視学官）

坂爪一幸氏（早稲田大学教育総合科学学術院教授）

齊藤宇閑氏（(株) たすく代表）

会場 東京都立八王子特別支援学校

<日程>

8:30	9:00	9:20	11:00	12:00	13:00	14:30	15:30	15:40	16:40	16:50
受付	諸連絡	公開授業	全体説明会	昼食 教材展示	校内案内 発表	講演会	シンポジウム		事務 連絡	

<公開授業> 9:20~10:50

* 公開時間内の全ての授業を公開いたします。

* 児童・生徒の写真・ビデオ撮影や私語等は御遠慮ください。

小学部	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9:20~9:45	社会性の学習／自立活動					
10:00~10:45	国語・算数	音楽	図画工作	国語・算数	音楽	図画工作

中学部	1年	2年	3年
9:20~9:50	国語・数学／自立活動		
10:00~10:50	音楽／美術	国語・数学	国語・数学

高等部	1年	2・3年
9:10~10:00	職業	作業学習<各作業班>
10:05~10:55	国語	

<お申込み>

- ・申し込み用紙に必要事項を御記入の上、平成30年1月12日(金)までに**ファクシミリ**にて送信してください。

<交通>

- ・中央線八王子駅南口 7番バス乗り場から 京王バス【八62】上大船行き または【八64】東京家政学院行き ⇒「上野町三丁目」下車徒歩3分
- ・中央線八王子駅南口から徒歩20分
- ・中央線西八王子駅南口から徒歩15分
- ・京王線：山田駅から徒歩15分
- ・駐車場は御用意できません。公共の交通機関を御利用ください。
- ・昼食は、弁当持参もしくは、近隣の食堂・コンビニエンスストアを御利用ください。近隣の地図は当日配布いたします。



【連絡先】 東京都立八王子特別支援学校

〒193-0931 東京都八王子市台町3-5-1

TEL 042-621-5500 (代)

FAX 042-621-5512

ホームページアドレス <http://www.hachioji-sh.metro.tokyo.jp/>

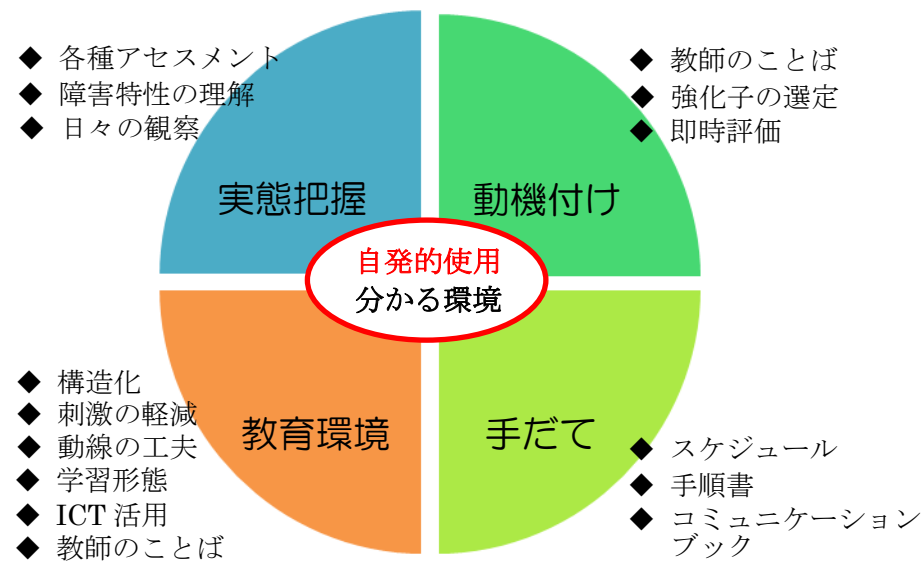


分かって動くための自立活動の充実

これまでの研究活動を通して、アセスメントに基づいた根拠のある指導内容の検討や、学習活動に必要な環境や手だてについて、整理を進めました。

E B E (Evidence Based Education 根拠のある教育) の実践

できることとできないことを見極めて適切な課題を設定し、自発的な活動のある授業づくりに取り組んできました。



上図は全校研究から導き出された分かる授業のための4つのベース（自立活動）です。今年度は全ての授業に必要な4つの要素を組込んで教科指導等に当たっています。

八王子特別支援学校の指導信条

“自分でやらなければ、できるようにならない！”

自立活動

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すカリキュラムマネジメント

知的障害教育における『育成を目指す資質・能力』を踏まえた教育課程の創造

知的障害特別支援学校における「主体的・対話的で深い学び」の追求

研究テーマにおける「ことば」とは

音声、非音声に限らず、絵や写真などの視覚的な情報交換やクレーンなどの顕在的な行動だけでなく、思考・判断のために頭の中で処理している言語的な内容も含んだ、広い意味で捉えています。

「ことば」を活用して、児童・生徒が「思考・判断・表現」できる授業の実践

- 授業における指導技術の向上を、児童・生徒の「思考・判断・表現」に焦点を当てて研究を進める。
- 分かる授業のための4つのベースを土台に、児童・生徒が「分かって動く」から「考えて動く」授業への転換を図る。
- 各教科における、特徴的な指導方法、指導技術についても研究を進める。

次期学習指導要領改訂の方向性

【新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実】

- 学びに向かう力、人間性の涵養
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 生きて働く知識・技能の習得

【新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目の新設や目標・内容の見直し】

- 各教科等で育む資質・能力の明確化し、目標や内容を構造的に明示

【主体的・対話的で深い学び（「アクティブラーニング」）の視点からの学習過程の改善】

- 生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力の育成
- 知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

教科指導